

## 秋田市緑の基本計画の改定計画原案に関するアンケート調査結果

秋田市緑の基本計画における緑の将来像実現に向けた施策展開の参考とするため、市民100人会を対象としたアンケート調査を実施した。

### 1 調査概要

調査期間：平成30年12月17日～平成31年1月16日

調査方法：郵送による無記名アンケート

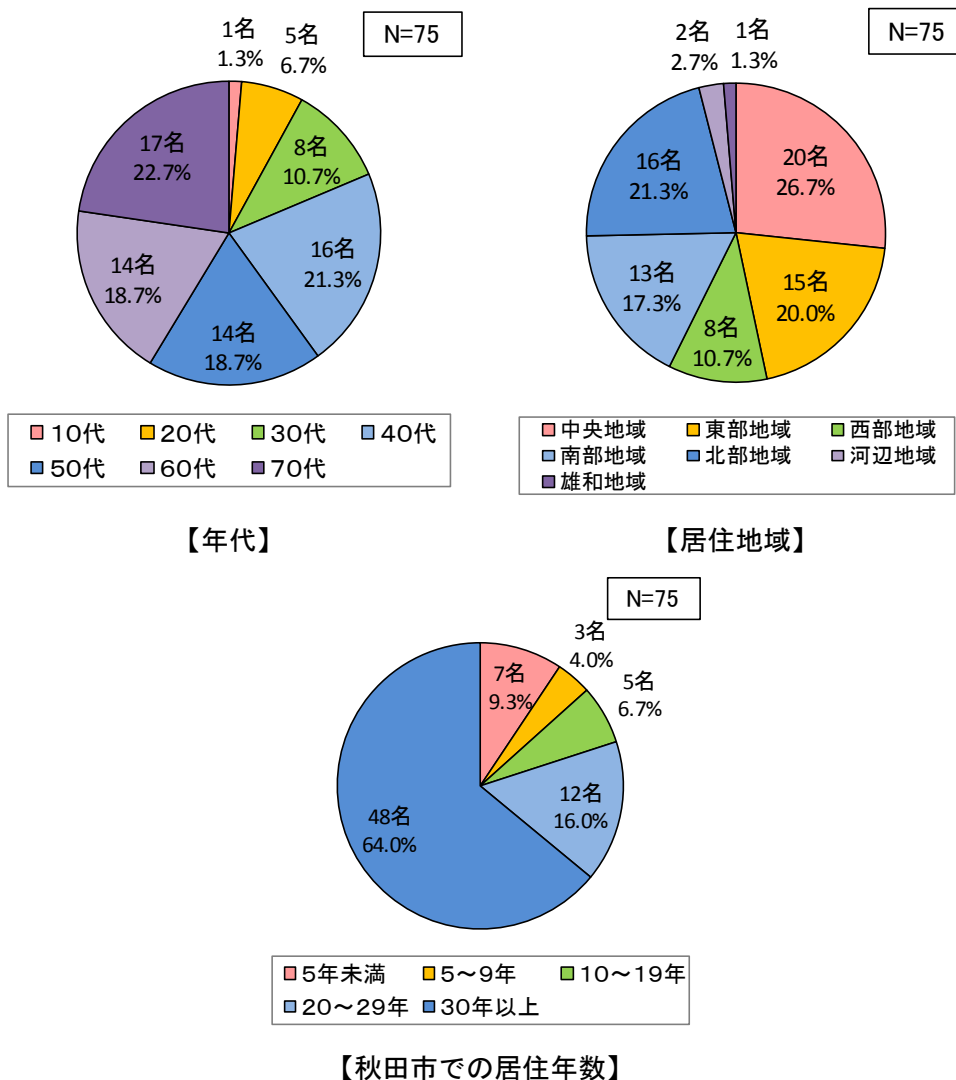
調査対象：市民100人会（107名）

回答率：70.1%（75名）

### 2 調査結果

#### 1) 回答者の属性

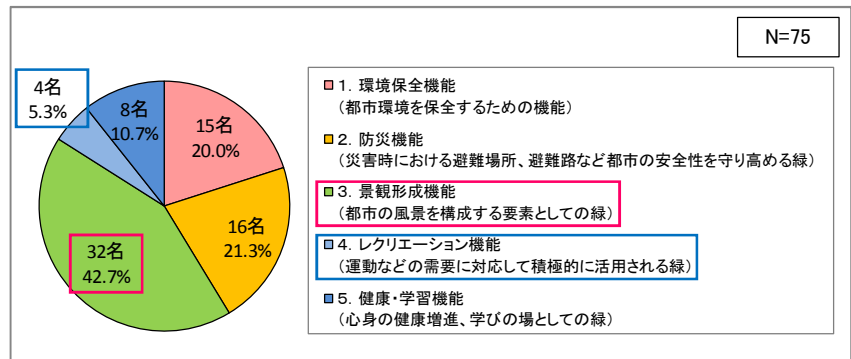
➤ 回答者の属性は、以下のとおりである。（回答数75票：男性31票、女性44票）



## 2) 改定計画原案についての意見

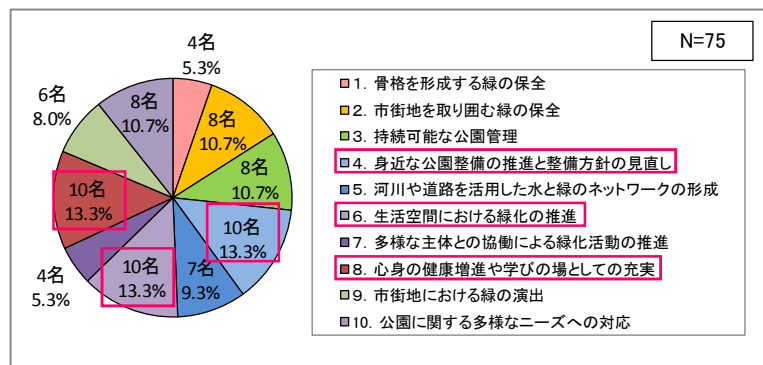
問1：改定計画原案では、緑が持つ多様な機能をより活かすことで、都市の魅力を高めようとしています。緑の持つ機能のうち、最も期待するものはどれですか？

- 「景観形成機能」が最も多く42.7%となっている。
- 一方「レクリエーション機能」は5.3%と相対的に低くなっている。



問2：現況調査結果やこれまでの取組状況等から整理した計画課題のうち、あなたが最も改善に力を入れるべきと考えるものはどれですか？

- 「身近な公園整備の推進と整備方針の見直し」、「生活空間における緑化の推進」、「心身の健康増進や学びの場としての充実」が13.3%と最も多い。
- 一方、「骨格を形成する緑の保全」や「多様な主体との協働による緑化活動の推進」等は約5%となっている。



問3：緑の将来像の実現に向けて、基本理念に基づき設定している重点テーマのうち、より重点的に推進すべきと考えるテーマはどれですか？

- 「暮らしに身近な公園を配置することを目指した都市公園の整備を推進します」が43.8%と約半数の方が回答している。

